

シーグラスを使ったクラフト体験



有限会社オズ（海島遊民くらぶ）
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1-4-53
【TEL】0599-28-0001 【Mail】kaito-yumin-club@oz-group.jp

■ 鳥羽湾が抱える漂着ごみ問題

鳥羽湾には森で作られた栄養たっぷりの水が流れ込む場所です。
この水のおかげで鳥羽では様々な魚が水揚げされ
冬にはワカメ・黒海苔・牡蠣などの養殖漁業が盛んに行われています。

しかし、鳥羽湾に多くの漂着ごみが流れついているという事実を
忘れてはいけません。

クラフト体験を通して、環境問題について考える機会にします。



伊勢湾には
年間12,000 t の漂着ごみ

鳥羽湾には
約半数の6,000 t の漂着ごみ

クラフト体験

クラフト体験では、シーグラス・貝殻・海藻・海洋プラスチックごみのチップなどを使います。完成した作品を見ると、子どもたちの個性がキラリと輝いています。クラフト体験を通して、海的环境や日々の生活について考え直す機会になります。



ジェルキャンドル作り



アクセサリ作り



マグネット作り

シーグラスって？

瓶やガラス片が海を漂います。
長い年月をかけて少しずつ波に削られ
角がとれて丸くなったものがシーグラスです。
浜辺を歩いているとキラッと輝く
シーグラスを見つけることができます。

右の写真は鳥羽にある浜の1つ。
小さな浜で流れ着いたシーグラスを集めました。
シーグラスは拾っても翌日には
新たなシーグラスが
流れ着いています。



海洋プラスチック

私たちの生活にはプラスチックが溢れかえっています。

1950年頃に本格的に生産されるようになり2015年までに、83億tのプラスチックが生産されたと言われています。

そのうち処分されたプラスチックは63億t。それらの79%（約49.8億t）は埋め立てもしくは投棄。12%（約7.5億t）は焼却。リサイクルされたのはわずか9%（5.7億t）です。

世界で年間800万tのプラスチックごみが海に流れ出る

- このまいくと、2050年にはプラスチックが魚の量を上回る？
- 海洋ごみの7～8割は街から流れ出し、海にやってくる？

微細化

マイクロプラスチック

※直径5ミリメートル以下の小さなプラスチックのこと



魚がマイクロプラスチックを誤食



※200種以上の海の生物が海洋プラスチックを誤食している



答志島（奈佐の浜）の海岸の様子



海洋プラスチックごみを小さなクラフト用パーツに！



シーグラス



海洋プラスチック



Point

- ・海的环境、漂着ごみについての理解が深まる！
- ・課題解決に向けての取り組みを考える機会に！

ジェルキャンドル

所要時間：約60分

スケジュール

経過時間	内容
	■ 集合場所に到着 → クラフト体験の会場へ徒歩移動
0 : 0 0	■ あいさつ（スタッフ自己紹介）
	■ 道具の確認と材料の説明 ・ジェルキャンドル作りの材料を通して 森と海のつながりや鳥羽湾における漂着ごみの現状について解説します
0 : 1 0	■ 作り方説明
0 : 2 0	■ ジェルキャンドル作り開始 ・ガラスコップの中に材料を入れて、それぞれのキャンドルをデザインします ・ガラスコップの中でデザインができればジェルを流し込む（原則スタッフが行います） ・使った道具の片付け
0 : 4 5	■ 漂着ごみについてのお話 ・漂着ごみがもたらす影響や解決に向けてできることを考えます
0 : 5 5	■ あいさつ・解散
1 : 0 0	■ バスへ移動 → バス出発

※時間は目安です。人数に応じてスケジュールを変更します



【完成した作品について】

ジェルキャンドルを集め、まとめて箱に入れお渡しします。完全に固まっていませんので学校到着後、お渡しください。ガラスコップには名前を記載した付箋が貼ってあります。

マグネット (2個)

所要時間：約60分

スケジュール

経過時間	内容
	■ 集合場所に到着 → クラフト体験の会場へ徒歩移動
0 : 0 0	■ あいさつ (スタッフ自己紹介)
	■ 道具の確認と材料の説明 ・マグネット作りの材料を通して、森と海のつながりや鳥羽湾における漂着ごみの現状について解説します
0 : 1 0	■ 作り方説明 ・持ち帰り用の箱を組み立てる ・マグネットの作り方と注意事項の説明
0 : 2 0	■ マグネット作り開始 ・ボンドを使って、マグネットに好きな材料を貼り付けます ・使った道具の片付け
0 : 4 5	■ 漂着ごみについてのお話 ・漂着ごみがもたらす影響や解決に向けてできることを考えます
0 : 5 5	■ あいさつ・解散
1 : 0 0	■ バスへ移動 → バス出発

※時間は目安です。人数に応じてスケジュールを変更します



【完成した作品について】

組み立てた箱にマグネットを入れ、集めます。
まとめて紙袋に入れ、先生にお渡しします。
まだ完全にボンドが乾いていませんので、学校に到着後お渡しください。
マグネットを入れた箱に名前を記載してもらいます。

マグネット と アクセサリー

所要時間：約75分

スケジュール

経過時間	内容
	■ 集合場所に到着 → クラフト体験の会場へ徒歩移動
0 : 0 0	■ あいさつ（スタッフ自己紹介）
	■ 道具の確認と材料の説明 ・クラフト体験の材料を通して、森と海のつながりや鳥羽湾における漂着ごみの現状について解説します
0 : 1 0	■ マグネット作り（1個）開始 ・ボンドを使って、マグネットに好きな材料を貼り付けます ・使った道具の片付け
0 : 3 0	■ アクセサリー作り（1個）開始 ・お気に入りのシーグラスを選びます ・ワイヤーを使い、アクセサリーを作ります ・好きな長さに紐を切り、ストラップやネックレスにします ・使った道具の片付け
0 : 5 5	■ 漂着ごみについてのお話 ・漂着ごみがもたらす影響や解決に向けてできることを考えます
1 : 0 5	■ あいさつ・解散
1 : 1 5	■ バスへ移動 → バス出発

※時間は目安です。人数に応じてスケジュールを変更します



【完成した作品について】

■ マグネット

マグネットを箱に入れて集めます。
まとめて紙袋に入れ、先生にお渡します。
まだ完全にボンドが乾いていませんので、学校に到着後お渡しください。
マグネットを入れた箱に名前を記載してもらいます。

■ アクセサリー

完成した作品はそのまま、各自でお持ち帰りいただけます。

海島遊民くらぶ について

海島遊民くらぶでは、地域の生活文化や自然を体験するエコツアーを行っています。

2001年、簡単な釣り体験から始まった海島遊民くらぶの体験ですが安全面とプログラムの充実のためスタッフ教育に力を入れてまいりました。その結果、様々な外部評価も頂き、安心してご参加いただける体制を整えています。

現在は、鳥羽の離島に渡り、釣り体験や島の生活・漁業・自然に触れる散策プログラム。シーグラスを使ったクラフト体験など、自然と人がともに生きる伊勢志摩で、海の環境について学び・気づき・考えるプログラムを行っています。

また、目的や規模に応じてオリジナルのプログラムのご提案もさせていただきます。お気軽にお問合せください。



入札体験の様子



釣り体験の様子



ジェルキャンドル作り

会社概要

会社名	有限会社オズ
代表取締役	江崎 貴久
所在地	〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1-4-53
連絡先	【電話】0599-28-0001 【FAX】0599-25-1300 【メール】kaito-yumin-club@oz-group.jp
創立	2001年9月4日
事業内容	○エコツアー企画・運営事業 ○観光情報サービス事業 観光・地域づくりに関するコンサルティング事業 ○視察・人材育成研修企画・運営事業 ○地域貢献事業
資本金	300万円
従業員数	6名（2023年4月現在） ※正社員3名、パート社員3名
加盟団体	伊勢志摩国立公園エコツアーリズム推進協議会 公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構 鳥羽市観光協会 志摩市観光協会 鳥羽商工会議所 鳥羽市エコツアーリズム推進協議会 伊勢志摩学生団体誘致委員会 鳥羽清港会 一般社団法人日本エコツアーリズム協会

ツアー体験概要

企画	海島遊民くらぶ
企画営業部長	田中 希枝
受入可能人数	100名／1回（100名以上は要相談） ※プログラムによって受入可能人数の制限あり （例）釣り体験：80人／1日
フィールド	有人離島：菅島・坂手島・答志島 無人離島：三ツ島 他の漁村：相差・浦村など 鳥羽駅周辺：鳥羽本町・小浜 近隣エリア：志摩市（横山展望台など）
学習のテーマ	自然と人との共存 SDGs 環境教育 コミュニケーション教育
保有資格など（スタッフ）	JRCAジュニア公認指導員 JSPAベーシックインストラクター 環境カウンセラー JESガイド養成講習会修了 普通救命講習1修了
協力団体	鳥羽海上保安部 三重県漁業協同組合 鳥羽市教育委員会 鳥羽市観光課 鳥羽市環境課 島の旅社

緊急対応マニュアル

災害発生時

【A】大規模地震発生
(東南海震源の場合)

【現場】
・揺れがおさまり次第、会場近くの避難場所に移動

避難場所に到着後したら
津波が収まるまで待機

【B】大規模地震発生
(遠距離が震源地の場合)

【現場】
・揺れが発生したら机の下にもぐり落
下物などから身を守る
・情報収集
・会場近くの避難場所に移動



緊急事態発生

【現状把握】
災害の状況
怪我の程度、状況、意識の有無など

連絡

指示

【本部】海島遊民くらぶ事務所

けが人・病人発生時

【A】意識なし又は意識はあり
緊急度が非常に高い場合

【119に連絡】
消防職員へ負傷者を受け渡す

【B】意識あり。緊急度が低い場合

緊急医療情報センターへ連絡

【A】負傷者の状況を確認し続行の可否を判断。
(中止) 残りの参加者を引率して本土へ戻る。
(続行) ルート変更・時間短縮などを検討し続行
【B】負傷者の状況を確認し続行。
ただし、負傷者の状況に応じてルート時間短縮などを検討する。

津波避難場所一覧

体験実施場所	津波避難場所	移動距離(海拔)
海島遊民くらぶ	ミキモト鳥羽工場敷地	徒歩約3分(30m)
旅館海月		
伊勢湾フェリー	旧鳥羽小学校グラウンド	徒歩約8分(39m)
かもめホール	鳥羽高校校庭	徒歩約8分(11m)



〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1-4-53
TEL : 0599-28-0001 / FAX : 0599-25-1300
Mail : kaito-yumin-club@oz-group.jp

三重県緊急医療情報センター	059-229-1199	
鳥羽市休日・夜間応急診療所	0599-25-1199	(内科・小児科)
市立伊勢総合病院	0596-23-5111	
山田赤十字病院	0596-28-2171	
鳥羽警察署	0599-25-0110	110番
鳥羽市消防本部	0599-25-2821	119番
鳥羽海上保安部	0599-25-0118	118番